お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。

「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■　5 月 26 日(月)、日本福音宣教連合会から約 9 名の役員と先生方が、私たちの教会を訪問されます。当日は、共に主を礼拝し、祈りと交わりの時を持ちます。よき交わりと祈りの会となりますように、お心を合わせてお迎えしましょう！

■　6 月 2 日(月)～3 日(火)　東京聖山キリスト教会で行われる「3 分ブリッジ伝道法セミナー」に参加させていただくこととなりました。
覚えてお祈りお願いいたします。

■　特別主日礼拝のお知らせ。ゲスト:イ・サンウン牧師
6 月 8 日(日)　午前 11 時～　特別メッセージ
午後 2 時半～　3 分ブリッジ伝道法

聖徒の為に祈りましょう。
・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

「恐れを克服する勇気」2

（ヨシュア記８章１～２節）

1 主はヨシュアに仰せられた。「恐れてはならない。おののいてはならない。兵士すべてを連れて立ち、アイに攻め上れ。見よ。わたしはアイの王とその民、その町、その地をあなたの手に渡した。
2 あなたがエリコとその王にしたように、アイとその王にしなさい。ただし、その戦利品と家畜は、あなたがたのものとしてよい。アイの町の裏に伏兵を置け。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝　柳澄香(賛美リーダ)．熊谷茂美(祈祷)
夕方賛美礼拝　柳澄香(賛美リーダ)　平澤寿子(祈祷)
水曜礼拝　松島スヤンティ(司会)．高木はつ江(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝　AM 11:00
夕方賛美礼拝　PM　2:30
教会学校（小学生まで）　AM 9:50～10:30
水曜礼拝　PM 7:00
祈祷会．火・木曜日　PM 8:30～9:30
土曜日　PM　8:00～9:00

週報 2025-21 号　2025.5.25

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧　師　柳 承吉(ヤナギ　ショウキチ)
副牧師　柳 智愛(ヤナギ　チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　韓芽唯

信仰告白　　(使徒信条)
代表祈祷　　高木はつ江
特別賛美　　インマヌエル聖歌隊
お知らせ
聖書個所　　ヨシュア記 8:1-2
メッセージ　(恐れを克服する勇気 2) 柳 承吉牧師
賛　　美　　神の家族
祝　　祷　　柳 承吉牧師

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　韓芽唯
代表祈祷　　北原孝子
聖書個所　コロサイ人への手紙 1:18-20
メッセージ　(ただイエスのみ 2) 柳 承吉牧師
主の祈り

水曜礼拝　　PM 7:00～

司　　会　　韓芽唯
代表祈祷　　北原孝子
聖書個所　　ローマ書 5:17-21
メッセージ　　柳 承吉牧師
(ローマ書 5 章の概略-4)

今週の御言葉

恐れを克服する勇気 ② ヨシュア記 8 章 1～2 節

恐れを乗り越え、勇気ある人生を生きるためには、神が共におられることを信じて進むことです。

人はなぜ恐れるのでしょうか？それは「不安」によるといわれます。神はヨシュアにこう仰せられました。

「恐れてはならない。おののいてはならない。戦う民全部を連れてアイに攻め上れ。見よ。わたしはアイの王と、その民、その町、その地を、あなたの手に与えた。」(ヨシュア 8:1) 誰が与えたのでしょうか？

「わたし」、すなわち神です。神が共に戦ってくださるのです。人が行動に移せないのは、未来への不確かさゆえです。死を恐れるのも、死後に何が起きるか分からないからです。しかし、神が共におられ、天国があると信じるならば、死さえも恐れる必要はありません。

ヨシュア記 1 章 5～6 節にはこうあります。「わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいよう。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。」さらに 9 節には、「強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。」

恐れの 95%は想像上のものだと言われます。だからこそ、どんなときも「神が共におられる」ことを信じて進まねばなりません。神はさらにヨシュアに命じられます。「町のうしろに伏兵を置け。」(ヨシュア 8:2)これは神の戦略です。第一回目の敗北の原因は、アカンの罪と、指導者たちの傲慢と怠慢、神に尋ねなかった軽率さでした。さらに彼らは最善を尽くさず、わずか 3 千人で戦おうとしました。今回、ヨシュアは 3 万人を選び、町の背後に伏兵を置きます(8:3)。そして翌朝、彼自身が軍を率いて出陣します(8:10)。指揮官である自らが最前線に立ち、民の前を歩みました。古代の戦争では、指導者が倒れれば軍は壊滅します。それでもヨシュアは、全ての恐れを乗り越えて模範を示しました。勇気とは、学び、模倣し、訓練できるものです。この戦いは勝利に終わり、「ヨシュアは、アイの住民をことごとく聖絶するまで、投げ槍を差し伸べた手を引っ込めなかった。」(8:26)と記されています。

私たちも、恐れを減らし、強さを増す訓練が必要です。主導的な態度、挫折への回復力、忍耐、精神的エネルギーなどを育てる必要があります。そのためには、反応的ではなく、順応的な(プロアクティブな)人になる訓練が求められます。古いスキーマを変え、「私はダメ」から「私はもっとできる」へと信念を変えていくのです。

恐れとは、私たちに情報を与え、行動へ導く大切な感情です。ただし、過度で有害で病的な恐れは克服しなければなりません。神はこう語られます。

「からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。」(マタイ 10:28)

「神が私たちに与えてくださったのは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。」(Ⅱテモテ 1:7)

恐れを乗り越えて勇気ある人生を生きるために、神の召命を握り、神が共におられることを信じ、恐れを減らし、強さを高める訓練を積み重ねましょう。主が私たちに与えてくださる勝利を信じて、今日も立ち上がりましょう！